

平成 22 年 11 月 25 日
多摩信用金庫

第8回多摩ブルー・グリーン賞受賞者決定！

多摩ブルー賞(技術・製品部門)は株式会社 メトロール(立川市)、
多摩グリーン賞(経営部門)は医療法人社団 康明会(日野市)が最優秀賞に決定！！

多摩信用金庫(本店:東京都立川市、理事長:佐藤浩二)が主催する「第8回多摩ブルー・グリーン賞」の選考が終了し、応募総数 146 件(多摩ブルー賞 82 件・多摩グリーン賞 64 件)の中から最優秀賞 2 件、優秀賞 10 件が決定いたしました。

受賞者は以下の通りです。

○多摩ブルー賞【技術・製品部門】

優れた技術や製品等により地域経済発展に貢献した、もしくは貢献が見込まれる中小企業、団体または個人事業主を表彰。

○多摩グリーン賞【経営部門】

新しいビジネスモデルにより地域経済の発展に貢献した中小企業、団体または個人事業主を表彰。

第8回多摩ブルー・グリーン賞 選考結果

(優秀賞は 50 音順)

賞の種類	受賞者名	受賞タイトル	本社所在地 (事業所等)	
多摩ブルー賞(技術・製品部門) 7件	最優秀賞	株式会社 メトロール	世界最小クラス「超小形 高精度PT-タッチスイッチ」	立川市
	優秀賞	株式会社 アフィット	高速可変情報印字インクジェットプリンター装置 KEGON PUX	日野市
	優秀賞	株式会社 エヌエスイー	WRAPPING SOUND SYSTEM スピーカ NS-8 シリーズ	調布市
	優秀賞	株式会社 オプトデザイン	高輝度 LED を用いた直下型フラット照明技術	八王子市
	優秀賞	株式会社 杉山チエン製作所	プレミアム SBR(Premium SBR)	入間市
	優秀賞	高千穂精機株式会社	超小型多目的全粒製粉装置	八王子市
	優秀賞	有限会社 でく工房	すくい易い食器	昭島市

多摩グリーン賞(経営部門) 5件	最優秀賞	医療法人社団 康明会	医療・介護連携型高齢者専用賃貸住宅モデル事業「風のガーデン」	日野市
	優秀賞	お弁当テレビ株式会社	お弁当テレビBASサービス(ビジネス・エージェンシー・システム)	八王子市
	優秀賞	新日本物流株式会社	前工程・後工程を総括した物流のパッケージ化	日野市
	優秀賞	株式会社 未来舎	地域活性化事業 ビズ・キッズ&「Kid's“お金の学校”ワンダーランド」 教育ソフト開発販売事業	青梅市
	優秀賞	矢島助産院	開業助産院のイノベーション～出産・子育てを支える多角的経営～	国分寺市

○多摩ブルー賞【技術・製品部門特別賞】／多摩グリーン賞【経営部門特別賞】／第8回特別賞

選考基準のうち、単独の項目において著しく評価の高い中小企業、団体または個人事業主を表彰。

賞の種類	賞名	受賞者
多摩ブルー賞 【技術・製品部門特別賞】	経済産業省関東経済産業局長賞	株式会社 オプトデザイン
多摩グリーン賞 【経営部門特別賞】	東京都産業労働局長賞	株式会社 未来舎
第8回特別賞	たましん経営者研究会立川支部 発足20周年記念特別賞	有限会社 でく工房
		株式会社 喜久屋

※ 最優秀賞・優秀賞および特別賞の受賞者を、平成22年12月15日の表彰式で表彰します。

●表彰式について

日 程:平成22年12月15日(水)

会 場:パレスホテル立川 表彰式・情報交換会 4階 ローブルーム

出席予定者:受賞者、歴代の受賞者、選考委員他、本賞後援団体代表者など

【参考】多摩ブルー・グリーン賞とは

多摩中央信用金庫が、創立70周年を記念して、平成15年に創設した表彰制度。第8回の今回は、平成18年1月の合併後、多摩信用金庫が主催として行う5回目の実施となります。

この表彰制度は、多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に、技術・製品を評価する「技術・製品部門(多摩ブルー賞)」と経営を評価する「経営部門(多摩グリーン賞)」の2部門から構成されています。それぞれ最優秀賞に100万円、優秀賞に50万円が、また各賞、選考基準のうち単独の項目において著しく評価の高い中小企業、団体、個人事業主に対し「技術・製品部門(多摩ブルー賞)」特別賞として経済産業省関東経済産業局長賞が、「経営部門(多摩グリーン賞)」特別賞として東京都産業労働局長賞が授与されるものです。さらに今回は、社会福祉的側面で地域社会への貢献に著しく評価が高い中小企業、団体または個人事業主に対し「たましん経営者研究会立川支部発足20周年記念特別賞」が授与されるものです。

また、経済産業省関東経済産業局、東京都をはじめ、多摩地域市町村、8商工会議所、21商工会等地域経済振興団体および主要新聞各紙などの後援をいただき、広く多摩の地域で公募しました。

【選考方法及びその基準】

〔選考方法〕

学識経験者、主催関係者などで構成される選考委員会において、第1次選考（書類選考）、第2次選考（プレゼンテーション）、最終選考の3度にわたり、厳正かつ公正に選考いたしました。

《選考委員会》

選考委員長 : 関 満博（一橋大学教授）
副選考委員長 : 石川 晴雄（電気通信大学教授）
選考委員 : 青木 宏（経済産業省関東経済産業局 地域経済部地域振興課長）
中尾 圭介（東京都産業労働局 商工部創業支援課長）
近藤 幹也（(地独)東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ 総合支援課長）
吉澤 実（東京都商工会連合会 事務局長）
岡崎 英人（(社)TAMA産業活性化協会 事務局長）
高橋 陽子（(公社)日本フィランソロピー協会 理事長）
東野 俊一（NTTアドバンステクノロジー(株) 知的財産ビジネスセンタ 企画部門 部門長）
田嶋 幹也（東京中小企業投資育成(株) 業務第一部長）
藤津 勝一（信金中央金庫地域・中小企業研究所 主任研究員）
鈴木 純一（日本経済新聞社 編集委員）
斉藤 勝寿（朝日新聞社 立川支局長）

〔選考基準〕

「技術・製品部門(多摩ブルー賞)」、「経営部門(多摩グリーン賞)」共通（5項目）

・「技術・製品部門」、「経営部門」の選考基準

①独自性、革新性

独自性・革新性があるか。また、それにあたりどのような努力、独自の工夫などがあるか。

②市場性、収益性

どのような市場性・収益性があるか。

③地域性(地域経済への波及効果)

地域経済の発展等にどのような波及効果を与えているか。

④継続性

現在の事業状況を踏まえ、今後の継続性があるか。

⑤社会性

「環境・少子高齢化・安全・ワークライフバランス・地域活動」等社会的な課題に関してどのように関与・貢献しているか。

以上